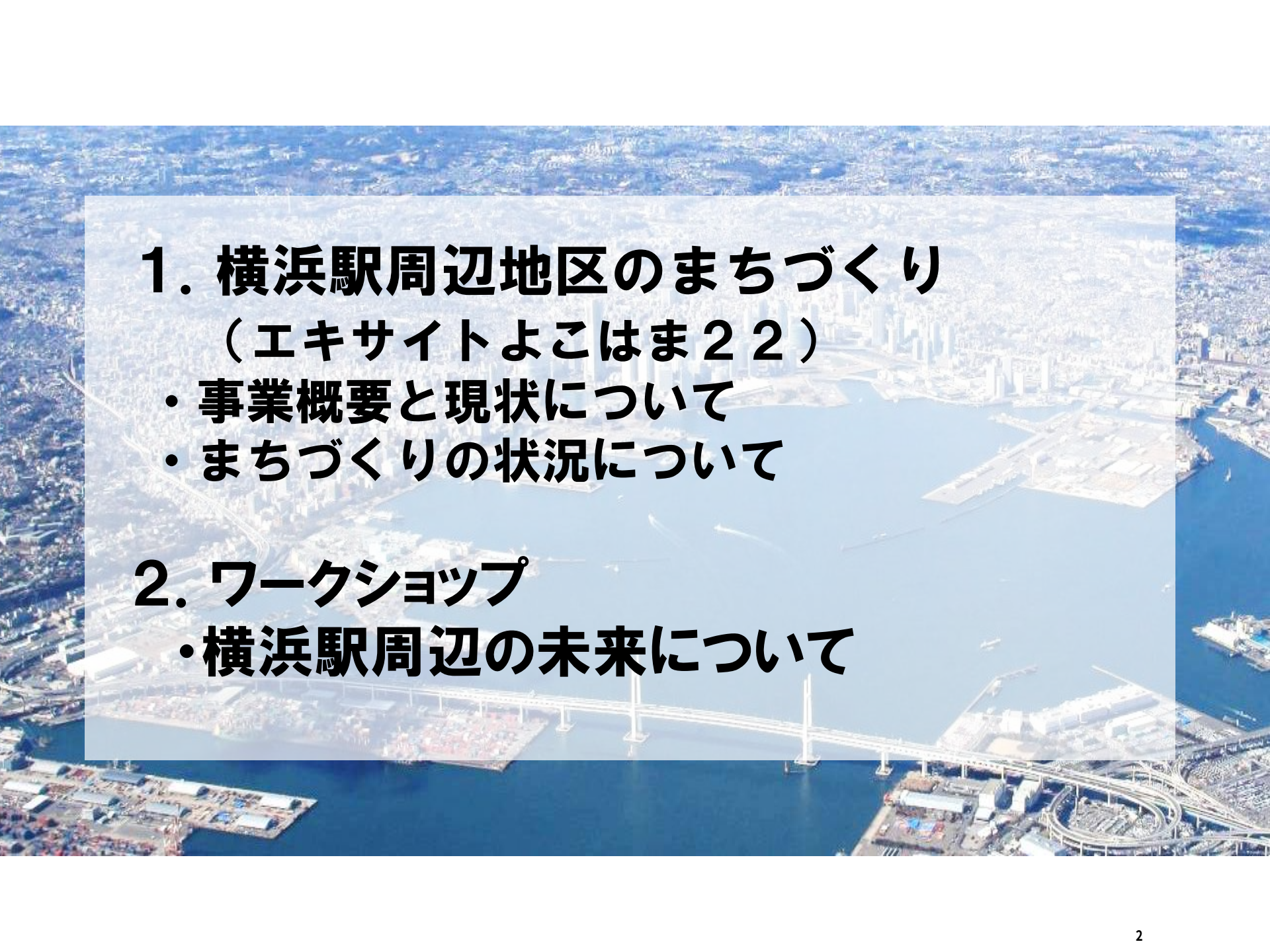


An aerial photograph of Yokohama, Japan, showing the dense urban landscape. The Yokohama Station complex is visible in the center, surrounded by a mix of older and newer buildings. A river flows through the city, and a large bridge is visible on the right side. The overall scene depicts a bustling metropolitan area.

横浜駅周辺の未来

～一緒に未来を考えましょう～

横浜市都市整備局都心再生課



1. 横浜駅周辺地区のまちづくり

（エキサイトよこはま22）

- ・ **事業概要と現状について**
- ・ **まちづくりの状況について**

2. ワークショップ

- ・ **横浜駅周辺の未来について**

横浜駅周辺地区のまちづくり (エキサイトよこはま22)

■エキサイトよこはま 22推進事業

横浜駅周辺の将来像を見据えたまちづくりの指針として地元と共有する「エキサイトよこはま22」を平成21年12月に関係者とりまとめ、22年度から計画実現に向けスタートしています。

◆22世紀を志向した
横浜駅周辺の、
とってもエキサイトする
まちづくり計画

◆「駅のそば」の意味も
込められています



横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

「国際都市横浜の玄関口として国際競争力のあるまちを目指す」

【横浜駅の位置づけ】

- ◆ 国際化した羽田空港などにつながる
アジアを中心とした国際交流拠点
- ◆ 首都圏南西部の要衝
日本第二位の人口を擁する都市
横浜市の中核拠点
- ◆ 首都圏有数の乗降客数を誇る
ターミナル駅

エキサイトよこはま22エリア



出典：概要版 エキサイトよこはま22(P.2～P.3)【H25年6月版】

世界から人々をいざなう『選ばれるまち』
心地よく、心に残る場面にあふれた『魅了するまち』
まちに関わるすべての人が『誇りに思うまち』

まちの将
来像

横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

まちづくりビジョン

「まちの将来像」とその実現に向けた戦略及びまちづくりの進め方など、まちづくりの考え方

まちの将来像

まちづくりの戦略

まちづくりの進め方

基盤整備の基本方針

「まちの将来像」の実現に向けて重要となる基盤施設の整備を進めていくための基本的な方針

まちづくりガイドライン

民間と行政が連携・協働して地区の魅力向上等を図るためのまちづくりの基本方針と再開発等を行う際のルール

横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

◇まちづくりガイドラインでは、

◇土地利用・空間形成分野

ゾーンごとに、現状の機能集積をふまえた特徴的な機能強化

◇環境分野

環境未来都市にふさわしい環境価値創造の拠点づくり

◇防災・防犯分野

民間と行政が連携した地震や水害などの災害に強い防災・減災まちづくり

◇景観分野

横浜の玄関口にふさわしい、印象的で魅力ある都市景観の創出

◇歩行者・親水空間分野

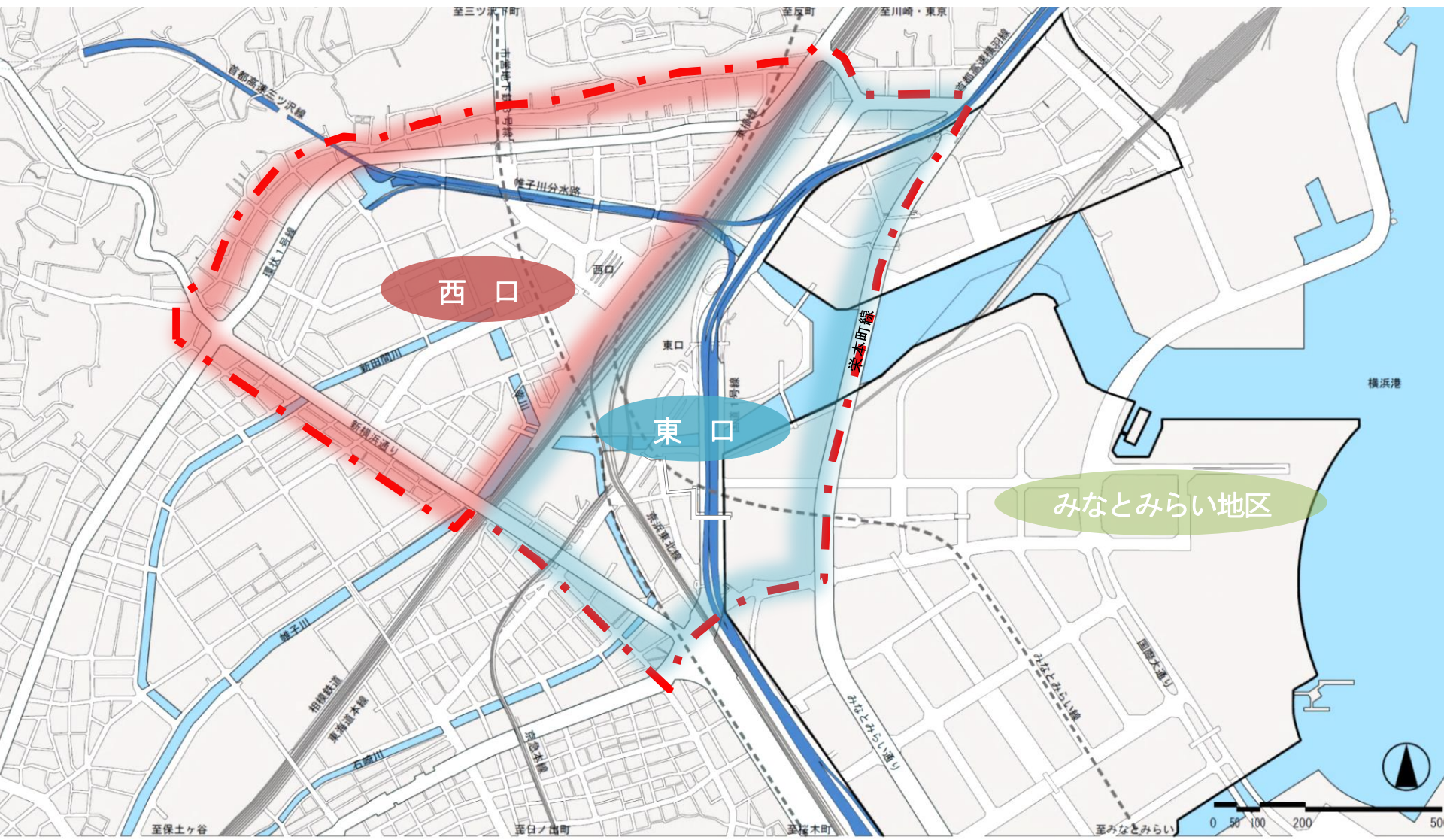
立体的な歩行者ネットワークの構築と魅力ある通りの創出

◇交通環境分野

地域の特性に合わせた駐車場利用環境の創出

横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

◇横浜駅東西の現状比較



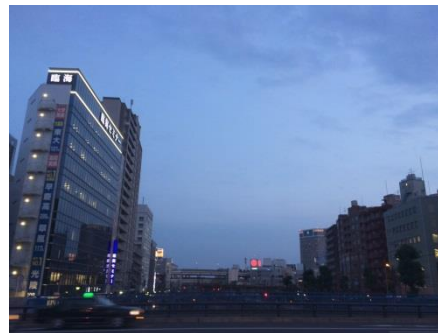
横浜駅 周辺

横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

◇横浜駅西口の現状



駅前広場



駅前周辺地区

親水空間

横浜駅周辺

横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

◇横浜駅東口の現状



地下街



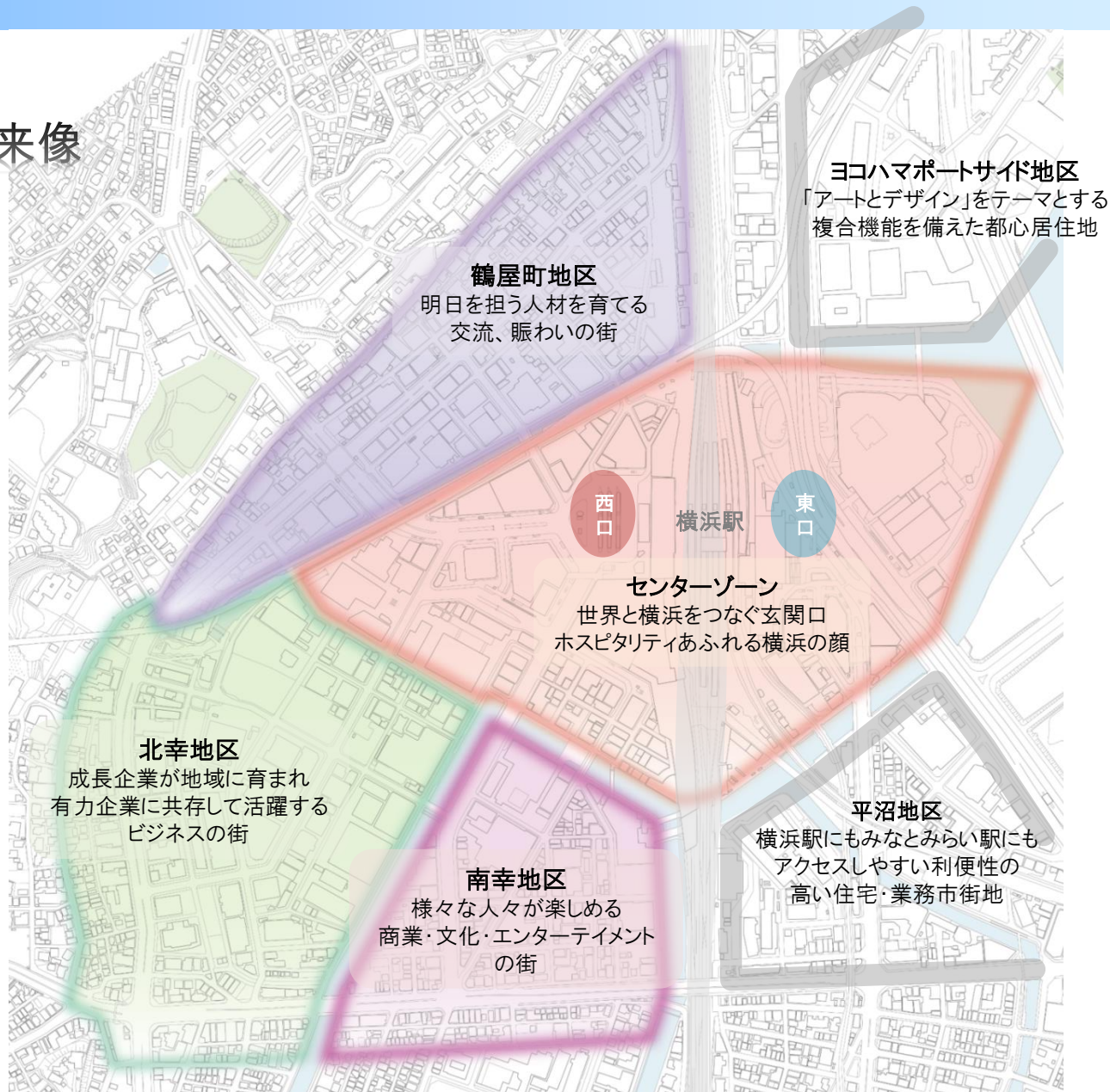
親水空間

駅前周辺地区

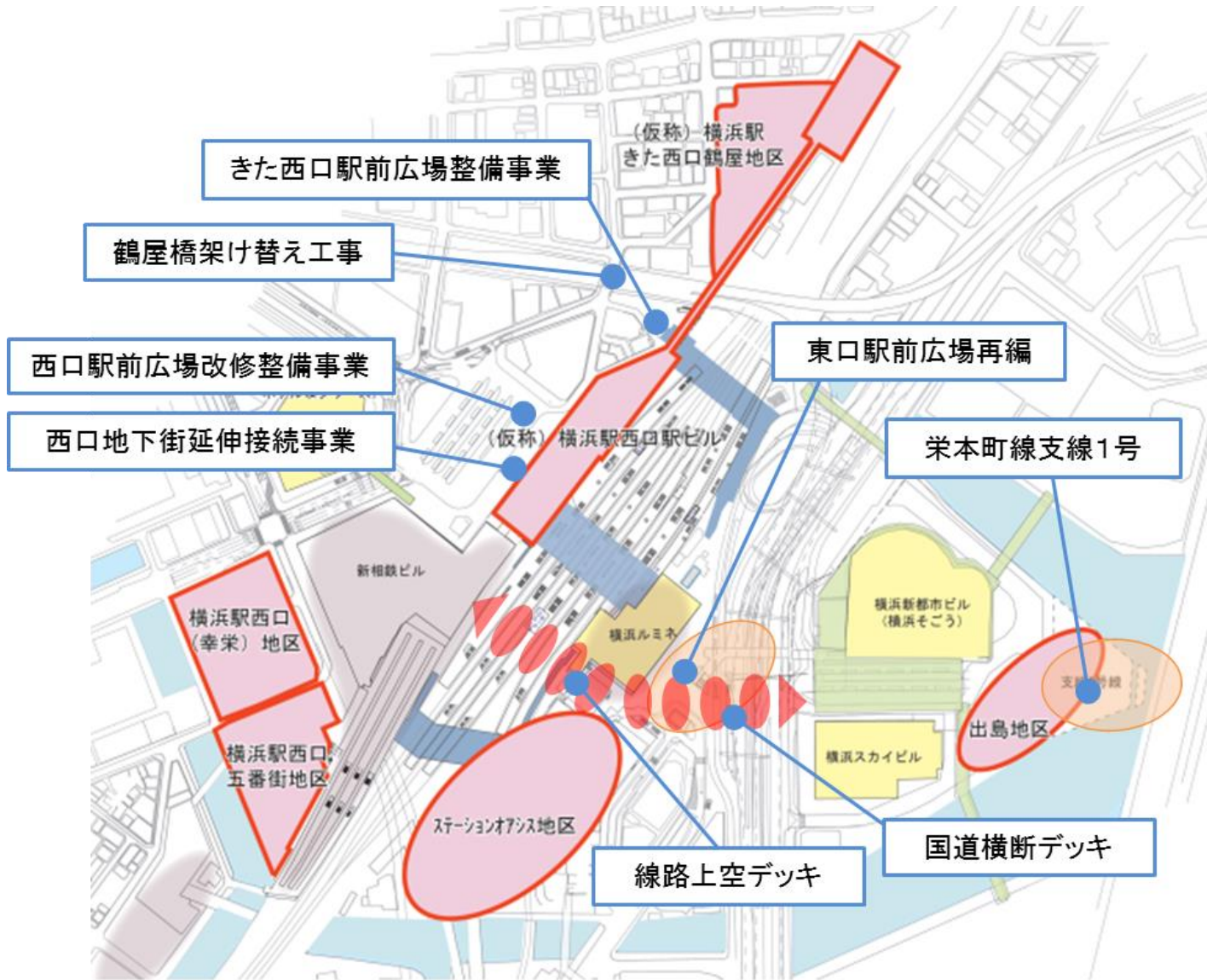


横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

◇各地区の将来像



横浜駅周辺地区のまちづくり(エキサイトよこはま22)

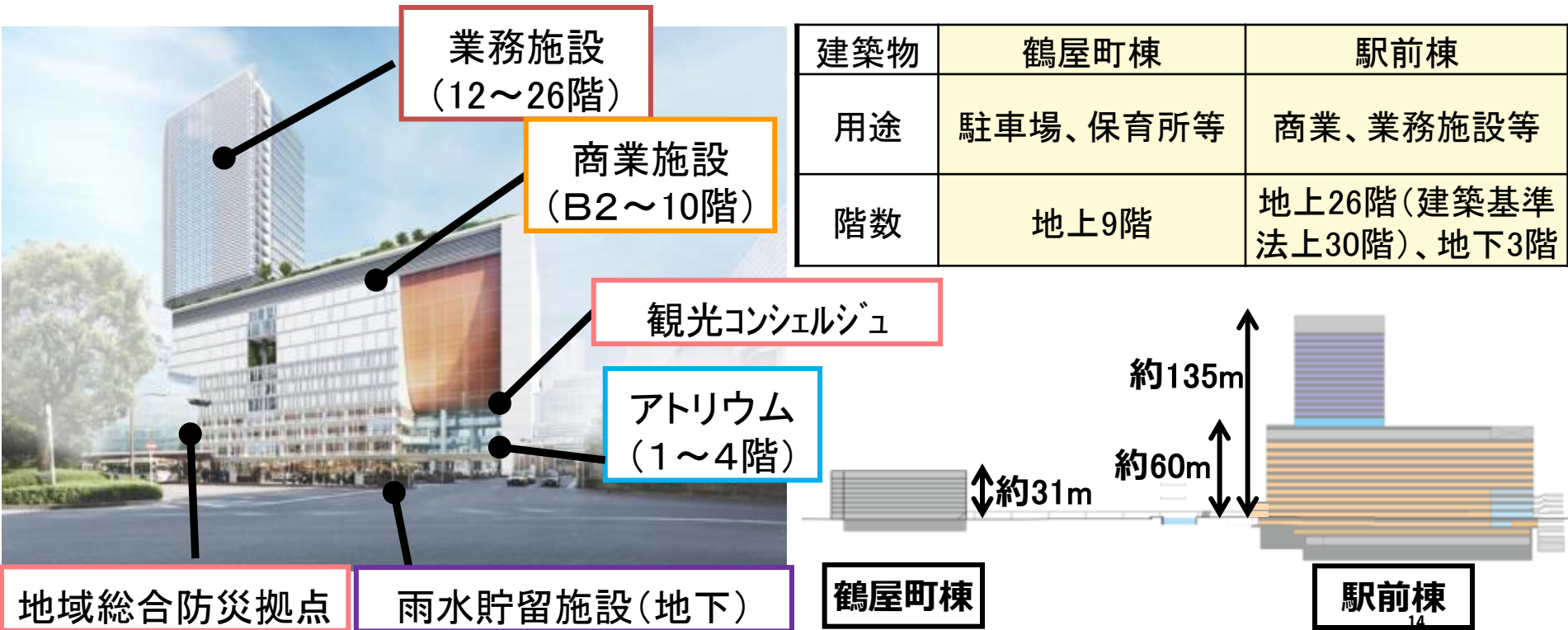


西 口

- ・（仮称）横浜駅西口開発ビル
- ・西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）
- ・中央西口、きた西口駅前広場
- ・鶴屋橋架け替え工事
- ・国家戦略特区（きた西口鶴屋地区）

(仮称)横浜駅西口開発ビル

- 横浜駅周辺の都市再生に向けたリーディングプロジェクトとして、国際競争力強化に資する次世代のワークスタイルに対応した業務機能やおもてなし機能の強化、保育所等の地域の生活利便に資する機能を導入するなど、様々な取組みを行い都市再生に貢献します。
- 駅前棟が工事着手され、東京オリンピック・パラリンピックの前の完成を目指して工事が進められています。



横浜駅
周辺

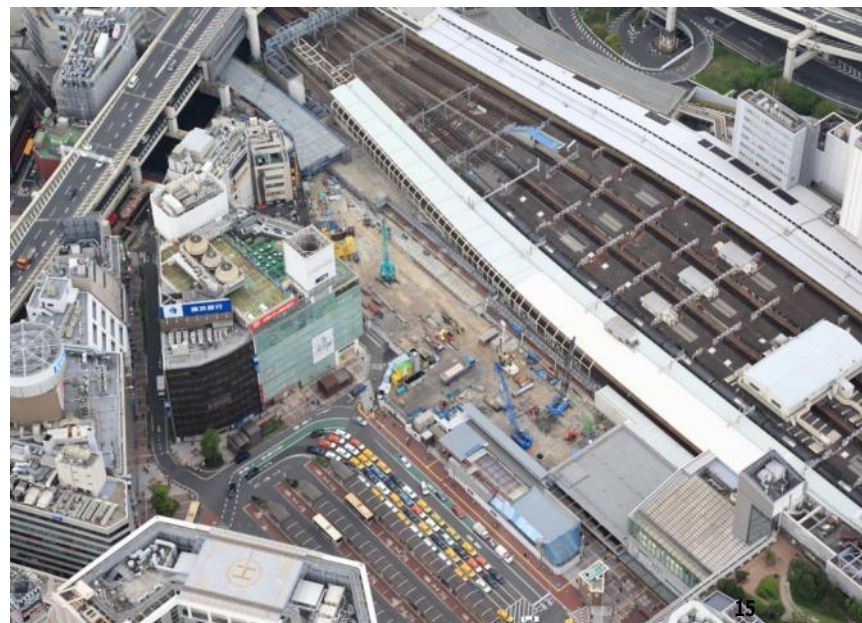
(仮称)横浜駅西口開発ビル



アトリウム (イメージ)

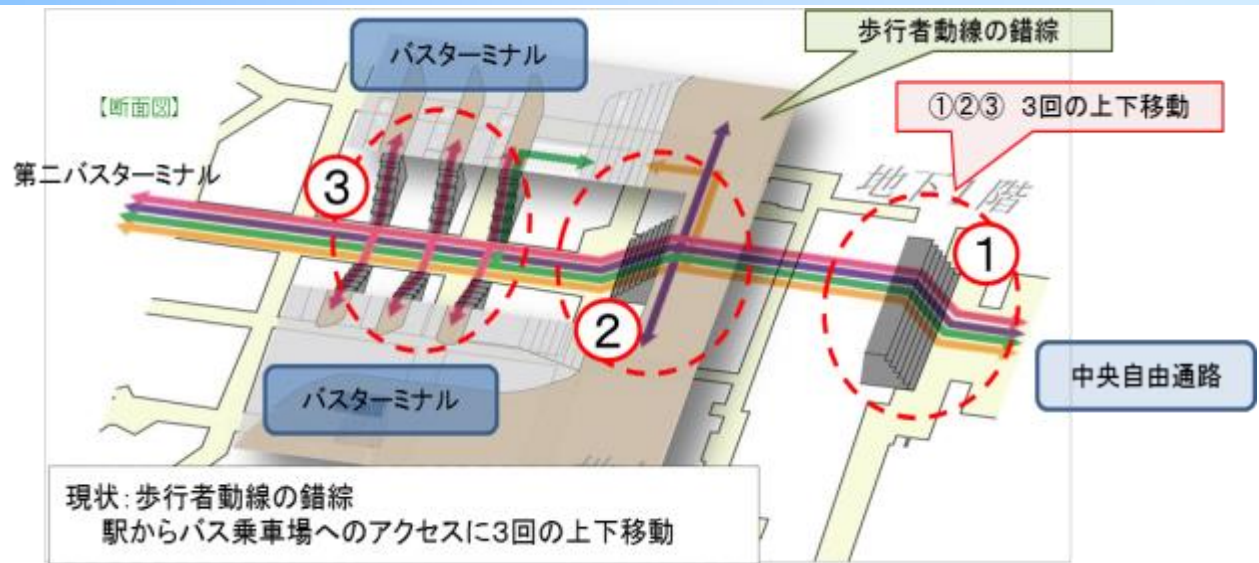


線路側歩行者デッキ(イメージ)

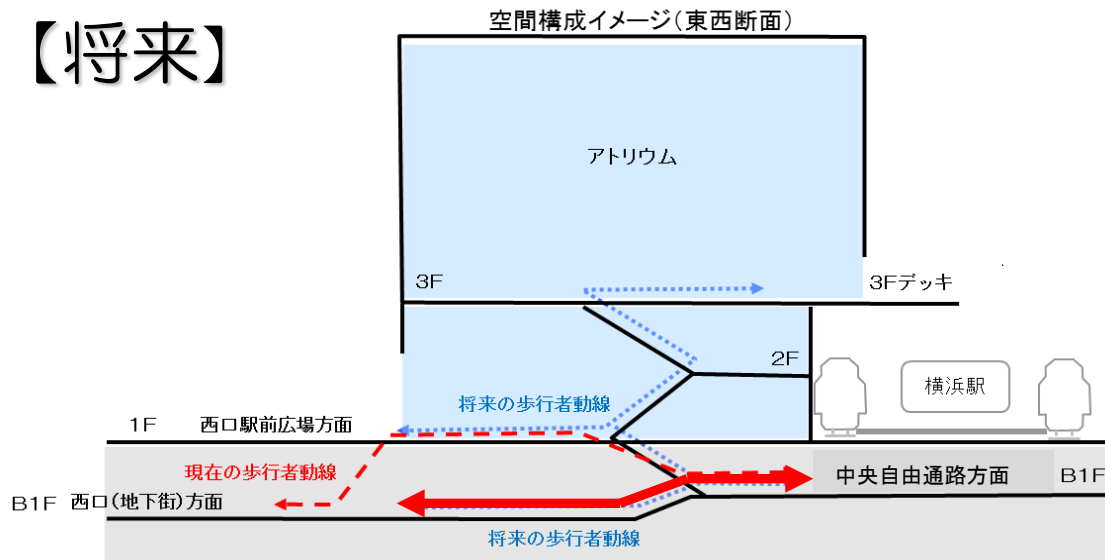


西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)

【現況】



【将来】



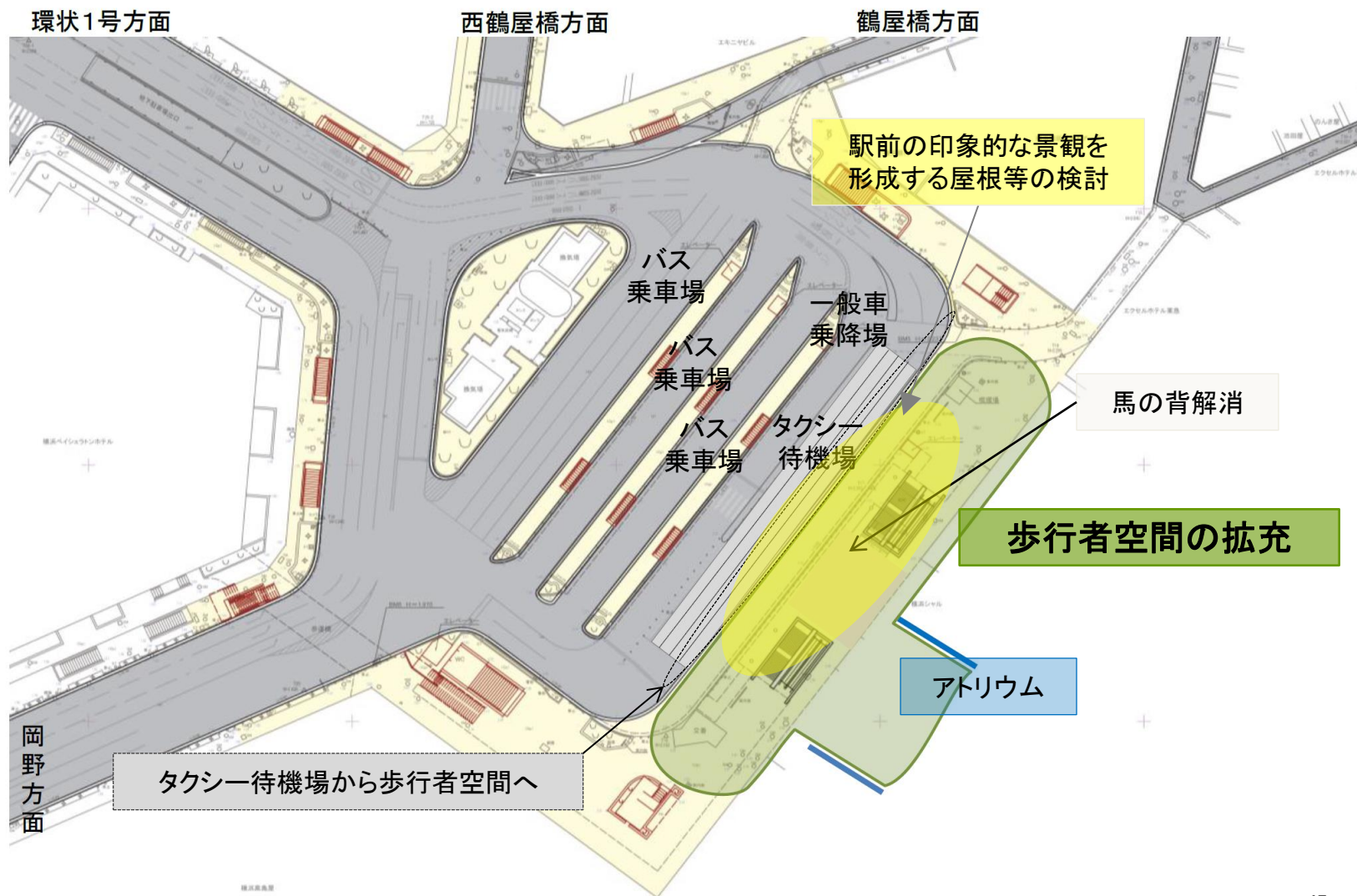
平成27年度 工事着手 平成32年 完成予定



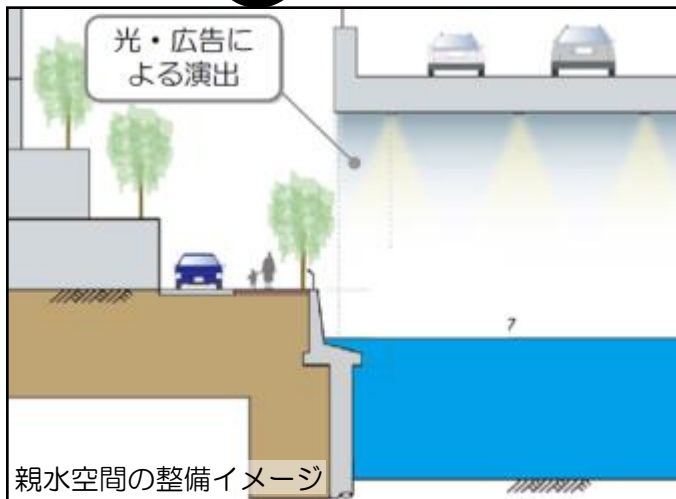
状況写真(南側階段)
(平成28年10月現在)

中央西口駅前広場

西口開発ビル・馬の背解消と連動した駅前広場の改修(歩行者空間の拡充)を進めます。平成32年度完了予定です。



きた西口駅前広場



- ◆ 新設する昇降施設と河川の間等に可能な限りフラットな空間を確保し、修景を中心とした親水空間を整備
- ◆ 歩行者デッキや鶴屋橋と連携した空間デザインやライトアップ計画等を検討
- ◆ 平成32年度 完成予定



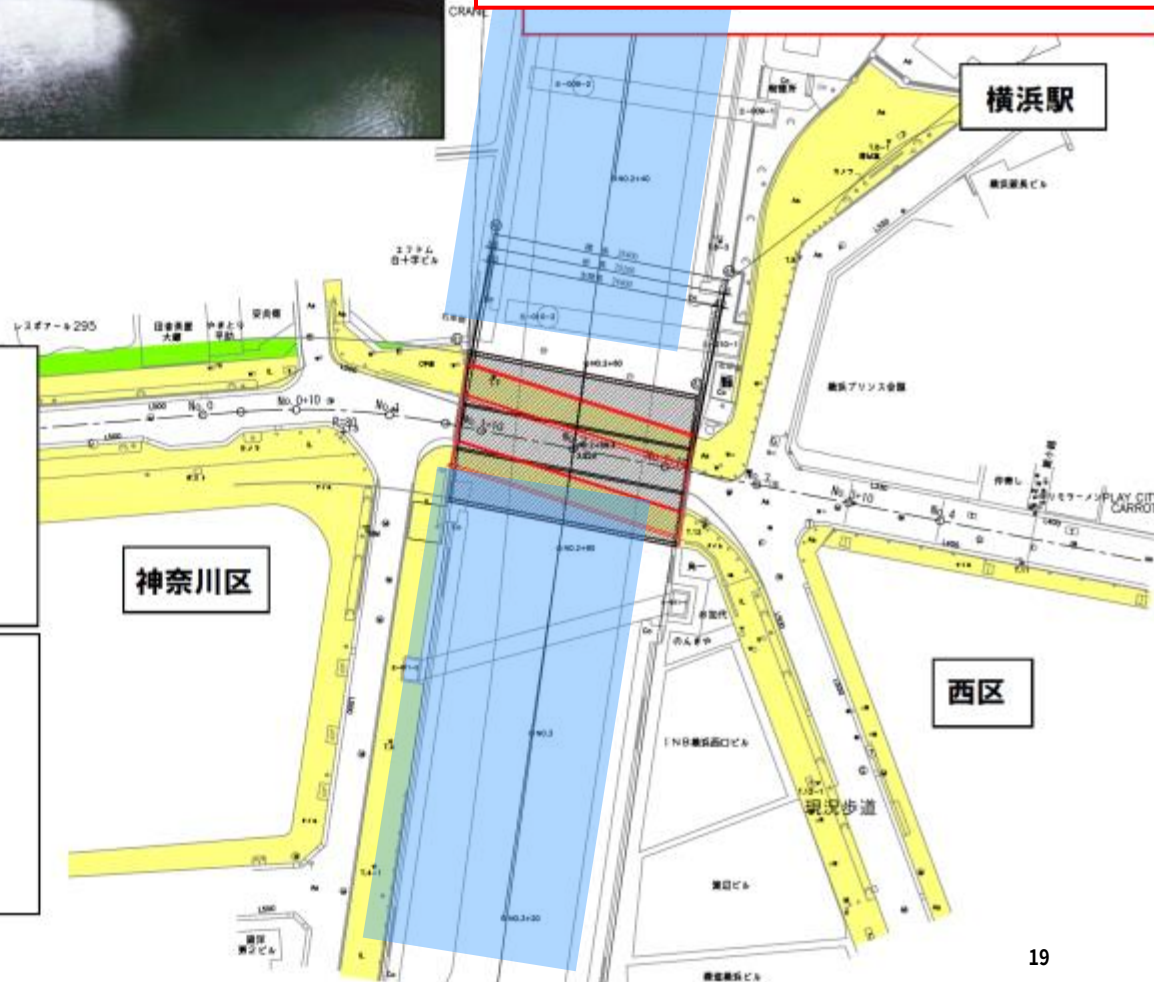
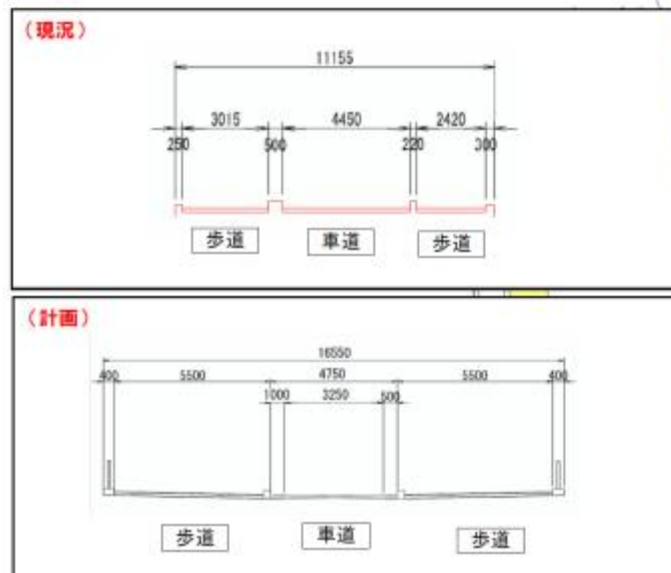
(架替前)



(架替後)



(断面構成図)



(1) 治水安全度の向上

橋りょうの架け替えに伴う橋脚の撤去などにより、帷子川分水路の通水量を増加させることが可能となり、台風時において浸水被害が発生した横浜駅周辺における帷子川本川の治水安全度が向上

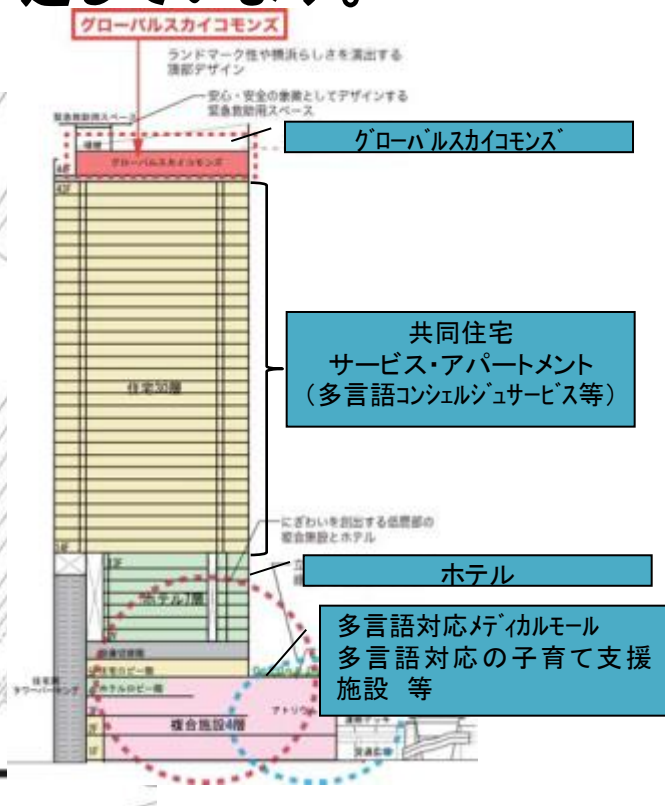
(2) 歩行環境の向上

道路の拡幅を行うことにより、歩行の円滑化など、周辺のまちづくりにも対応した歩行環境が向上

国家戦略特区(きた西口鶴屋地区)

国家戦略特区を活用し、国際的なビジネス拠点の形成に向け、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住を促進します。また、利便性の高い立地特性を活かし、商業・宿泊・住宅など多様な都市機能を集積した土地の高度利用を図ります。

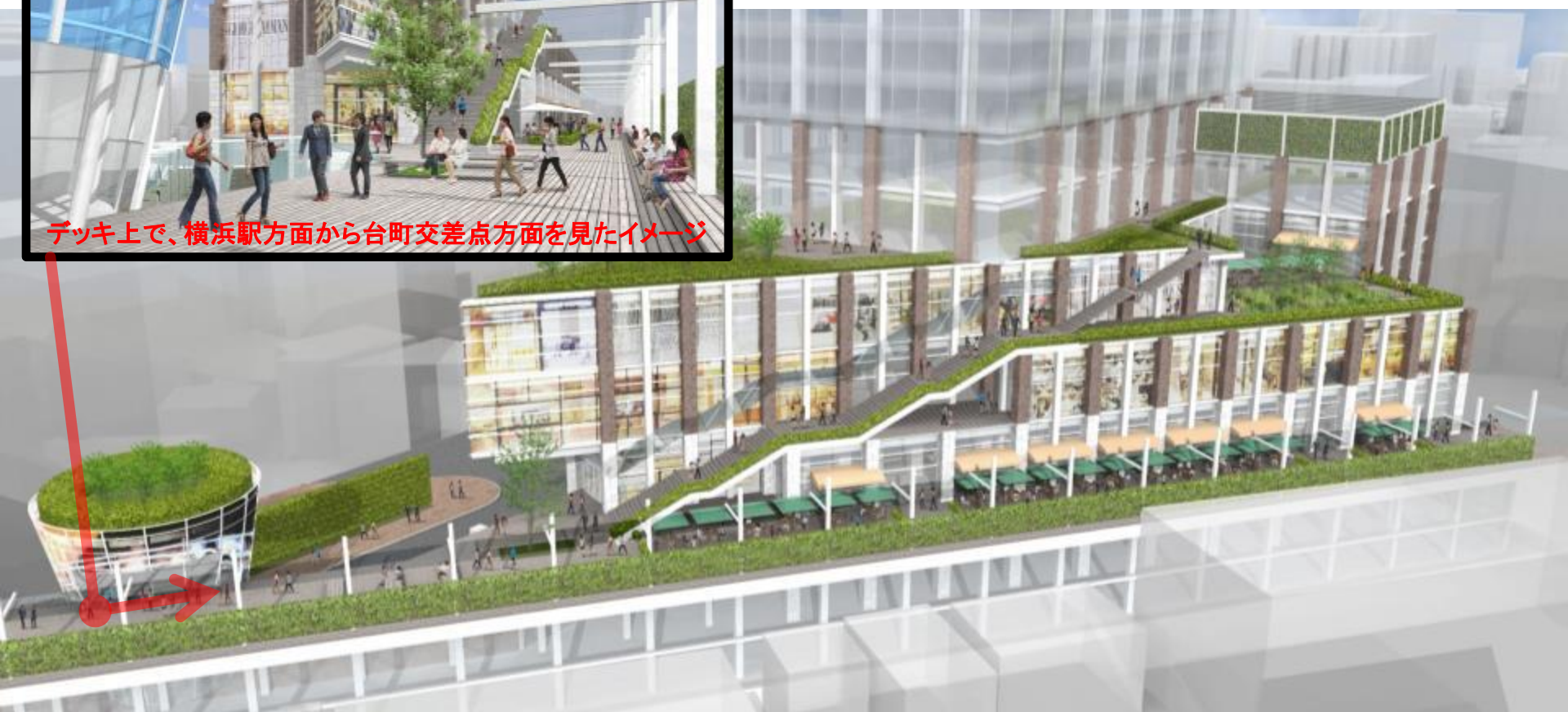
平成30年度工事着工し、平成33年度の竣工を予定しています。



※図は、現時点で想定しているイメージであり、今後変更する場合があります。

横浜駅
周辺

国家戦略特区(きた西口鶴屋地区)



※図は、現時点で想定しているイメージであり、今後変更する場合があります。

東 口

- ・ 東口基盤整備
- ・ 横浜駅東口地区（ステーションオアシス）

東口基盤整備(東口再編のコンセプト)

Open Sky Terminal

横浜駅東口

Open Sky Terminal

横浜の顔としての
魅力ある空間

・空港を感じさせるダイナミックな開かれた空間
キーワード：顔、シンボル、ダイナミック
横浜らしさ、開放感

国際空港直結
世界への玄関口

・国際線の増加による外国人訪問者の増加
キーワード：国際、利便性、機能性、空港直結
地域の交通拠点、

災害にも安心安全な空間

・来訪者にも安心安全な駅空間
キーワード：避難動線確保、滞留スペース確保
浸水対策、バリアフリー

羽田空港や京急線、空港リムジンバス

成田空港や成田エクスプレス、空港リムジンバス

みなとみらい 21



隣接する街区の顔との対比

羽田・成田空港



横浜の顔として魅力ある空間

- 横浜の観光拠点としての印象に残る景観づくり
- 国際的で多様な交流の生まれる憩いのスペース
- 立体的な一体感を持ち、空への広がりを感じる駅空間

災害にも安全安心な空間

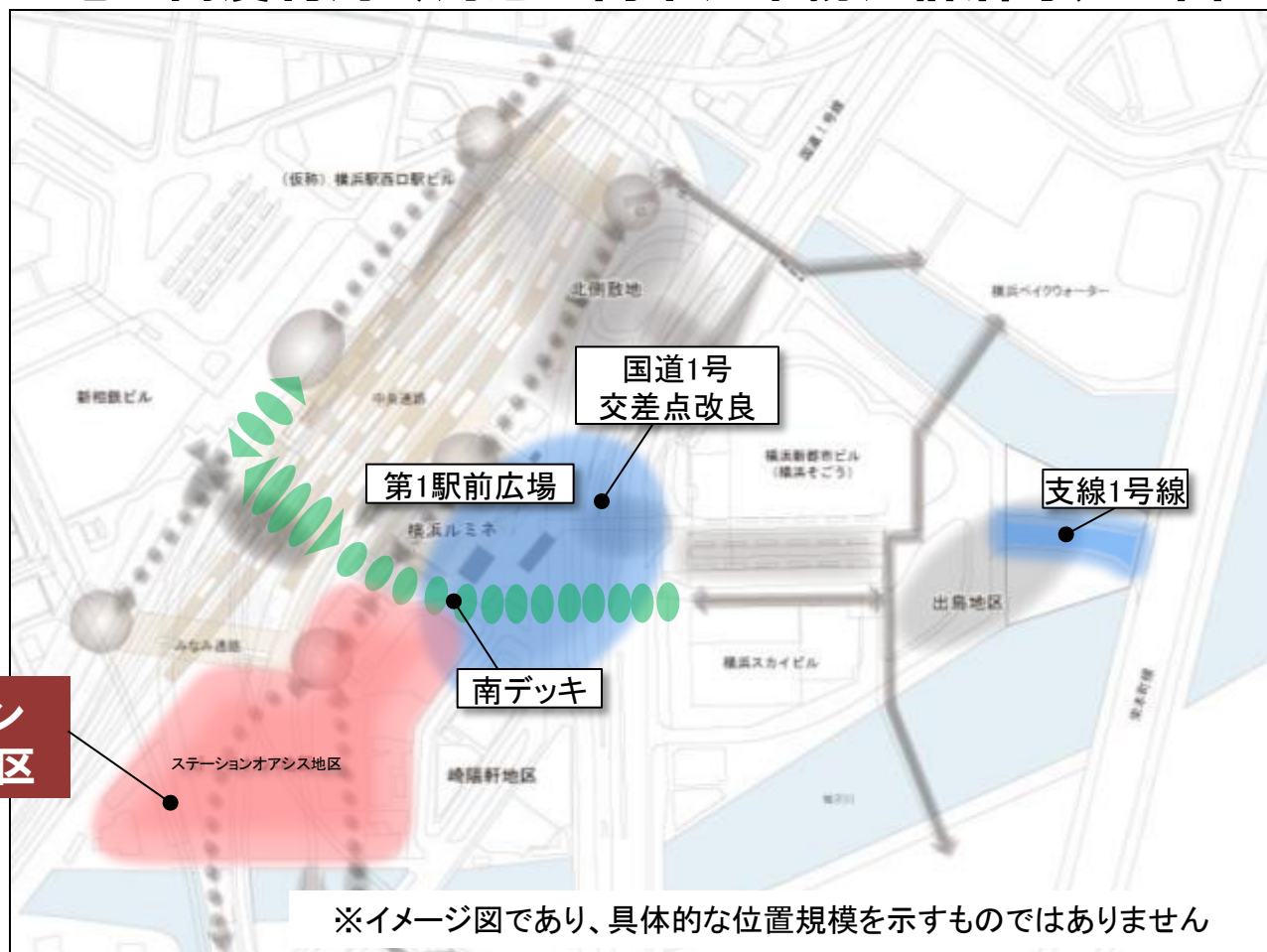
- デッキレベルによる見通しのよい避難動線
- 避難場所として認知しやすい空間
- わかりやすくバリアのない歩行者動線

国際空港直結・世界への玄関口

- 羽田空港のアクセス強化
- 来街者にもわかりやすいユニバーサルな乗継動線
- 横浜都心臨海部全体へ案内するゲート機能

横浜駅東口地区(ステーションオアシス)

- 横浜駅東口地区開発推進協議会（日本郵政、東日本旅客鉄道、京浜急行電鉄、横浜市）で、検討が進められています。
- 国際都市の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある都市空間の形成等のために、土地の高度利用（用途：商業、業務、宿泊等）を図ります。

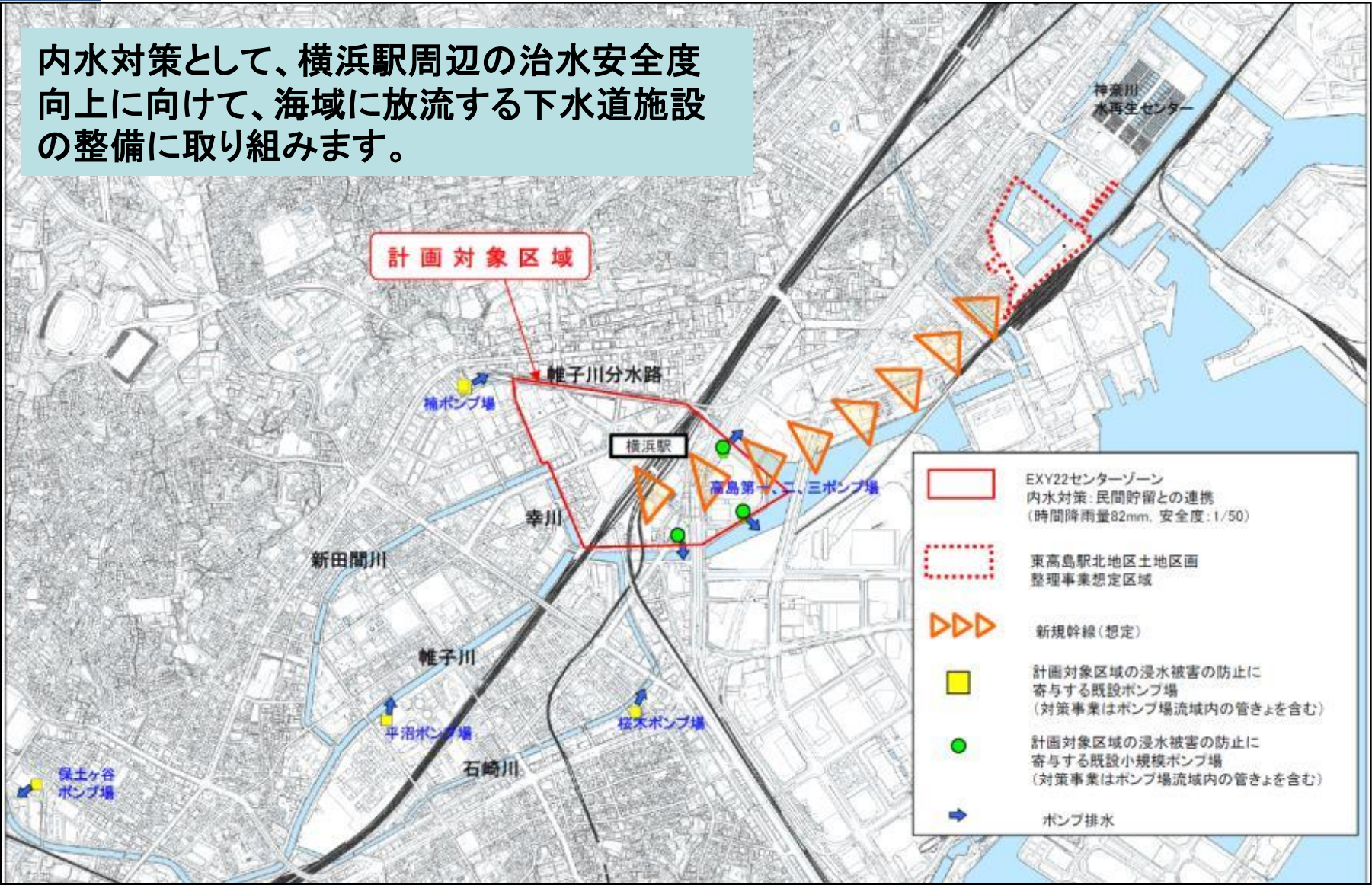


横浜駅周辺地区全体

- ・治水対策（内水）
- ・防災の取組（地域総合防災拠点）
- ・エリアマネジメントの推進

治水対策(内水)

内水対策として、横浜駅周辺の治水安全度向上に向けて、海域に放流する下水道施設の整備に取り組めます。



防災の取組(地域総合防災拠点)

「横浜駅地域総合防災拠点」の設置

新たに建築される「(仮称)横浜駅西口開発ビル」内に200㎡の「横浜駅地域総合防災拠点(仮称)」を設置予定です。

発災時における「情報連絡本部」等のスペース、また「横浜駅周辺混乱防止対策会議(部会を含む)」のスペースとしてなど活用方法を検討しています。



避難誘導マップ



イメージ写真

エリアマネジメントの推進(公的空間の活用によるまちの賑わいづくり)

公共空間と民間敷地の空地・建物等が一体となってまちの賑わいを作り出せる街を目指し、エリアマネジメントによる公共空間の利活用について、具体的な取り組みを踏まえた検討を進めていきます。



浮棧橋



パルナード通り